

# 議会だより

～“まち”の動きがよく分かる！～



No. 62  
R元.11.7発行

## 通年議会

### 第4・5回会議

平成30年度決算状況	2～3P
令和元年度補正予算	8P
一般質問に9人が登壇	10～18P
全体研修会報告	19P
常任委員会及び 一部事務組合報告	20～23P

# 91万2千円の黒字

のうち3,413万8千円を翌年度に繰り越す。

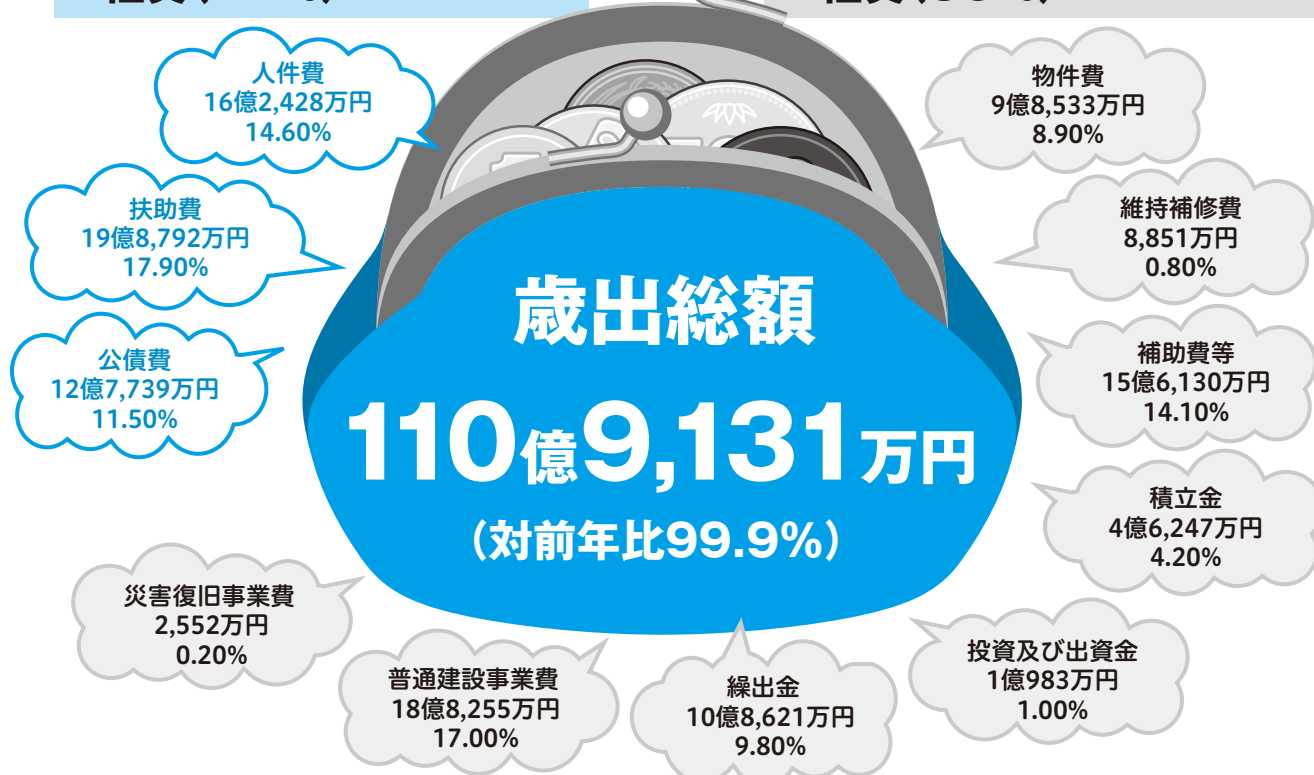
## 自主財源(25%)

## 依存財源(75%)



## 支出が義務付けられた経費(44%)

## 政策によって支出された経費(56%)



# 実質収支額 5億8,5

差額残高 (収入総額 - 支出総額) 6億2,005万円

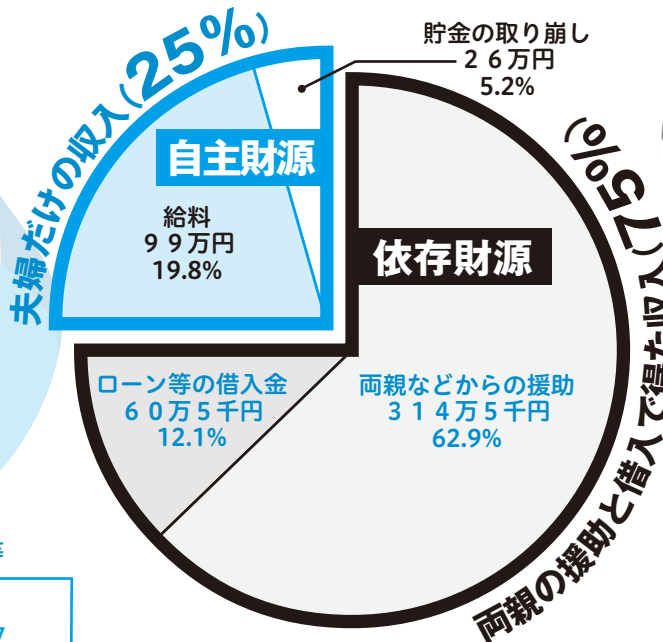
平成30年度  
【あさぎり家】の  
お金の流れ



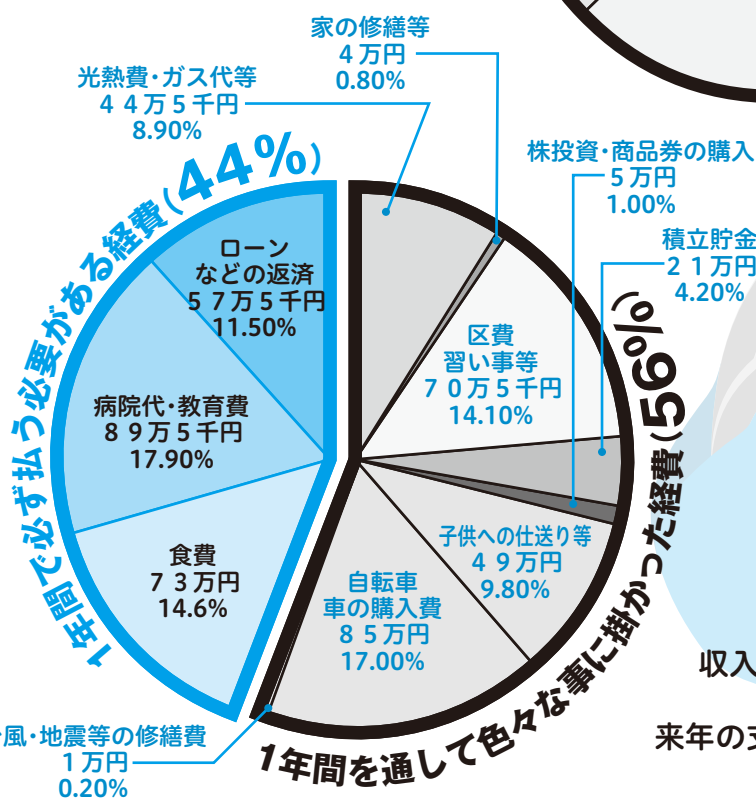
収入合計  
500万円  
(去年の収入496万円)

わかりやすく一般家庭の1年間の家計簿で例えてみましょう

両親・若夫婦合わせ  
年収500万円  
(子供2人の家庭の場合)



右の表と照らし合わせて下さい



支出合計  
474万円  
(去年の支出474万円)

収入-支出 = (差額残高) 26万円の内、  
1万4千300円は  
来年の支払い分にとって置く必要があります。

したがって平成30年度の「あさぎり家」は24万5千700円(実質収支額)の**黒字**でした。

「あさぎり家」では、両親の援助と借金をしないと夫婦の収入だけで生活するのが難しいという事が解ります。また、両親も多額の借金があるので今後援助も少なくなっていく事が考えられます。あさぎり町でも同様に、町の収入だけでは町民の皆様には「行き届いた行政サービス」を行う事は困難で、国・県からの援助が必要ですが、今後この額が減っていくので、収支のバランスを考えながら計画的にお金を使うことが重要になってきます。



# 平成30年度決算審議への質疑（抜粋）

## 総務文教常任委員会所管課分

（総務課・税務課・会計課・企画財政課・教育委員会）

**問** 町民と役場の防災訓練については。

**答** 特に土砂災害、また浸水想定区域への訓練を重視した。情報の伝達、地域コミュニティでの行動、避難所での行動等を訓練確認をし、あわせて職員においても、各警戒する段階において、図上訓練を行った。

防災基本条例の中で、9月1日前後を防災週間と定め防災意識の向上を図っていく。



防災ラジオ

**問** デジタル防災無線で議中継を流すことは可能か。

**答** 文字を音声に変換して放送する仕組みのため議会の中継はできない。

**問** HPに29年度分財務状況が公表してあるが、専

門的な知識が要るため住民が見てわかりづらい。町の財務状況を説明するには目的を達しないのでは。

**答** わかりやすいように努めていきたい。30年度から固定資産台帳は職員で作ることにした。今後の予算査定や施設の老朽化具合を見きわめて修繕等に活かしたい。

**問** 消防団の活動が台風災害対策などに及ぶ中、チェンソーでの作業には危険が伴う作業となるのでは。

**答** 本年度チェンソーを整備するが安全対策が求められる。防具も合わせて購入し、団員に操作の説明を行う。今後も激甚化、広域化する災害等に備えて、消防団の意識と体制の強化を図っていく。

**問** 地域おこし協力隊の募集に応募はなかったのか。

**答** 農業支援センターの研修生として募集したが、応

募がなかったため、継続募集をしている。現状で1名の応募があり、10月に面接予定である。

**問** 美化パートナープログラムの現在は、現在11団体が活動中だが、執行額が予算額の半分以上となっている。この事業の本身は。

**答** 各老人クラブ、ライオンズクラブ、南稜高校が活動中で、公共施設の環境美化活動を支援することで団体と町が共同して快適で美しい公共空間を創造することを目的としている。支援内容は活動に必要な物品の支給等。

**問** 町のホームページが更新されたが、もっと利用しやすい作りにはできないか。

**答** リニューアルしたばかりで難しいが、できる範囲で努力していく。

**問** 文化財保護費の中で伝統芸能継承補助金36万円が

ある。伝統芸能に係わる団体の活動は。

**答** 現在の登録団体は23団体だが活動中は8団体のみ。それぞれの地域の祭りで活動され、衣装や太鼓等の維持管理に補助金が活用されている。

**問** 高山運動公園基本設計後の進捗状況は。

**答** 弓道場に関しては要望により場所の見直しをして設計から外している。旧東庁舎横の弓道場を活用してもらいながら、今後の旧東庁舎の活用状況で建設場所が変わっていくものと考え



現在の弓道場

**問** 教育振興費の中の報償費で優良児童生徒の表彰数が少なかった。表彰者数と表彰規定は。

**答** 表彰規定については、平成19年11月に制定しており、善行表彰は、人命救助等や介護福祉ボランティアに活躍した生徒、奨励表彰は、部活動関係で、県内で優秀な成績をおさめた者等を表彰している。昨年度の表彰者は3名。

**問** 社会体育に移行して1年となるが、30年度の社会体育、社会クラブ活動、指導者並びにその内容は。

**答** 各ジュニアクラブの指導者に集まってもらい、ストレッツやけが予防、体幹トレーニングの指導方法等の講習会を約2か月ごとに行った。社会体育移行後は各ジュニアクラブの加入者は増加傾向にある。

**問** いじめ防止対策推進法において、学校はいじめの防止や早期発見、起きてしまったいじめなどの対処を行うため

に、複数の先生や専門家を集めたチームを作らなければならないとあるが、現状は。

**答** 調査委員会を立ち上げるための規約づくりと人選を行っているところで、人選については効率性と中立性を保ちたい。

**問** 中学校のトイレが改修が済んで間もないのに、もうかなり清掃がゆき届いてない。掃除を子どもたちに徹底させ、整理、整頓、掃除、清潔、しつけ、の5Sの徹底が必要では。

**答** 学校へは校長会を通じて伝えたい。保護者には学校だより等を通して情報提供して行く。



改修後のトイレ

**問** 旧免田町の五差路の看板は、ポツポツ館や芝生広場に建てたほうが目立つのでは。

**答** いろいろ御意見も伺いながら進めさせていただきたい。

**問** ふるさと納税で沢山の方に納税いただいているが町民が他町村に納税されているのは把握できているのか。

**答** 62名で町民税控除額は2百74万4千円。

**問** 固定資産税の未納割合が12・3%と他の税と比較して高い。現状は。

**答** 大口の滞納者がいるのが原因である。

滞納者数 140件  
滞納額 7,659万4,908円

## 厚生常任委員会所管課分

(町民課・生活福祉課・高齢福祉課・健康推進課)

**問** 野良猫、捨て猫の処置は。

**答** 避妊、去勢もしていないので増える一方である。保健所も引き取りをしておらず町としても苦慮している。



**問** マイナンバーカードは必要性を感じないが交付率は。

**答** 保険証代わりに利用するなど検討がなされているので交付率は上がってくる。町民課及び支所窓口で写真を撮って申請の受付をしているので利用いただきたい。



マイナンバーカード

**問** 子ども医療費で歯科医療費が減少しているのに現状は虫歯の多い子供がいる。治療ができていないのでは。

**答** 子ども医療費の支払い方法等の見直しを検討している。その中で実態を把握し検討していく。



**問** 肺炎球菌の予防接種受診率が68%だが1年以内にならないと接種できない。残りの32%の方に対する取り組みは。

**答** 平成26年から始まったが5歳刻みで予防接種を受けていただいている。受けていただいていない方に対しては、今年から5年間に受診券等を送り勧奨を行っていく。



**問** 公立多良木病院の経営は厳しいと聞くと町長はどのような認識か。

**答** 赤字幅が大きいですが、ここ4ヶ月位は業績が向上している。しかし新経営計画を見てもやはり厳しいものがあるため、企業長と協議を重ねるような支援が必要か急いで取り組んでいきたい。



**問** 高額療養費が当初予算より2割ほど増加しているが原因は。

**答** 主に悪性新生物で、癌などの件数が増加している。

**問** 予防医療に力を入れていただきたい。

**答** 保健指導等をこれまで以上に進めていきたい。

## 建設経済常任委員会所管課分

(農業委員会・商工観光課・農林振興課・建設課・上下水道課)

**問** 地域の話し合い活動の活性化は。

**答** 農業委員の方々にも出席してもらい、地域の図面などを参考にしながら進めたい。出席することで国の事業の対象となり、ポイントが稼げるので、そういうことも啓発したい。

**問** 畜産振興補助金の事業振り分けの対応は。

**答** 畜産振興協議会と協議し途中での事業状況を確認しながら進めていきたい。

**問** 廃ビニール等の処理は適正になされているのか。

**答** 町内で適正に処理されているが、中国への廃プラ類輸出ができず、処理費が値上がりしている。

**問** 分収林残りの面積と口数は。

**答** 柳別府地区の約13ヘクタール、13口となっている。

**問** 有害鳥獣の前年対比増減は。

**答** 昨年と比較して、鹿が増加している。(+242頭)非常に増加したのが、カラス(+558羽)。



**問** 農業支援センターの助成金は令和4年度には0円できるのか。

**答** 令和4年度を目標としているがなるべく早い時期に進めていきたい。

**問** 集落営農の法人化は。

**答** 現在、2組織で県の事業を活用し、話し合いをしている。法人化を進めていきたいので意識づけを検討している。

**問** 農業振興補助金の機械導入等についての成果は把握しているか。

**答** 3年間の追跡調査をしたい。

**問** 今後の補助事業は規則・要綱に明記した上で、交付されるのが妥当では。

**答** 国の補助事業等の様式を参考にしながら、作成して進めていきたい。

**問** 農業支援センターとシルバー人材センターの連携は。

**答** 農業支援センターの方に、農業関係の依頼が多い。軽作業はシルバー人材センターの方に依頼し、ある程度、協力しながら進めている。



**問** 販路開拓強化事業補助金に山村活性化支援交付金が使われているが、指定区域限定で使いづらいと聞きます。

**答** ふるさと振興社が上地区にあるので、一緒に商談会に行くとするば該当する。再度、農水省と協議していく。

**問** エレベーター保守管理の場所と点検の頻度は。委託料の金額は妥当か。

**答** ポップー管内でのエレベーターで、年2回の保守点検を実施、委託料は建設時から、この金額で委託している。

**問** あさぎり町駅前複合施設整備基本構想計画は公表されているか。

**答** 成果品は納品されているが、精査の必要がある。で、まだはつきりと決まっていない。

**問** おかどめ幸福駅の指定管理、どの様な活動をして観光事業に貢献しているのか。

**答** レンタサイクル等の受付、インバウンド観光、バスの停車等多くあるが売店の売上増にはつながっていない。観光的には、幸福マールシェであったり各種イベントの開催の実施。



**問** 販路開拓事業の効果は。

**答** 衛生検査、栄養成分検査、商談会支援、商品パッケージ支援等行っているが数字的な効果はみられない。

**問** ふるさと振興社の今後のスケジュール、あり方は。

**答** 経営改革あるいは売上

げを増やすための事業を遂行するには、まだ人手不足、人材不足。11月頃から診断士の中から2人程、月2回ぐらい来てもらい、経営改革を中心をやってもらう。

**問** 建設課発注分で地元二次製品がどれだけか把握しているか。地元で使えるものは地元で使えないか。

**答** あさぎり製品がどれだけというデータは持ち合わせていないが、工事発注の際は、極力県産材を使ってもらおうようお願いしている。

**問** 公営住宅使用料の過年度分の徴収率が上がっているが。

**答** 地道な相談の上、理解してもらい収納率がアップした。

**問** 環境整備資財等支給事業費の効果、住民意識の向上は。

**答** 住民協働で行う場合は人件費がゼロ。通常の工事

の1/3でできる。最新の取り組み状況を広報紙とかホームページにアップしながら意識づけしたい。

**問** 維持管理の除草作業の委託は、人員不足、作業の省略等出来ないか。

**答** 作業員と情報交換しながら、機械化できるところは整理したい。



除草作業

## 第4回（8月8日開会）

- 1・報告第5号：専決処分・災害復旧費（測量設計委託料）510,000円
- 2・報告第6号：専決処分・損害賠償 358,906円  
（建設車両と公用車の事故）
- 3・同意第3号：教育委員の任命同意  
中村麻有さん（上地区）



## 第5回会議（9月3日～13日開会）

歳入歳出それぞれ **6億407万3千円**を追加し

総額

# 106億4,833万1千円

（主なもの）

### 建設課

- ①おかどめ公園駐車場整備工事費……………3,300万円
- ②道路橋りょう費……………602万円
- ③農地や農業施設修繕に関わる費用……………860万円

### 総務課

- ①消防施設整備費……………4,923万円

### 企画財政課

- ①くま川鉄道経営安定化補助金……………809万円
- ②人口ビジョン・総合戦略策定支援委託料  
……………233万円
- ③財政調整積立金……………1億4,295万円
- ④ふるさと基金積立金……………4,000万円

### 生活福祉課

- ①深田高山荘解体工事費用……………3,200万円
- ②プレミアム付き商品券事業負担金…1億375万円

### 農林振興課

- ①農林振興事業補助金……………401万円
- ②林業振興基金積立金……………1,755万円
- ③森林環境譲与税基金積立金……………457万円

### 教育課

- ①小中学校タブレットPC更新費用……………6,110万円
- ②免田総合グラウンド照明LED化……………402万円



# 条例の制定 抜粋

## 1. あさぎり町森林環境譲与税基金条例

森林整備を促進するための人材育成、担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発に充てるための基金を設置するため。

## 2. あさぎり町印鑑条例の一部を改正する条例の制定

住民基本台帳法施行令等の一部改正に伴い本条例の一部を改正する。

## 3. あさぎり町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準（平成 26 年内閣府令第 39 号）の一部改正に伴う。

## 4. あさぎり町農産加工センター条例の一部を改正する条例の制定

農産加工センター内において金属検出器を新たに導入することにより、使用料金を設定する必要性が生じたため。

## 5. あさぎり町水道事業給水条例の一部を改正する条例

水道法及び水道法施行令の一部改正に伴い本条例の一部を改正する。

## 6. あさぎり町乗り合いタクシー運送事業補助条例を廃止する条例

デマンド交通事業への事業転換のため、あさぎり町乗り合いタクシー運送事業補助条例を廃止する。

あさぎり町280メガヘルツデジタル防災同報無線システム

## 整備工事請負変更契約の 締結について

(契約金額) 変更前：276,264,000 円

変更後：283,123,177 円

増額

▶ 6,859,177 円

理由：消費税増税に伴ない、第 1 回会議において議決された契約について請負変更契約を締結する必要が生じた。

議員が町の執行部に対してさまざまな角度から町政について質問します。



溝口 峰男 議員  
Mizoguchi Mineo

働き方改革の

取り組みについて



社会福祉協議会の業務改革は

**問** しらがね寮は、町の社会福祉協議会に移管した方が町にはプラスになるのではないかと判断する。

**総務課長** 職員の見直しや管理や財政面においても課題があるので精査をして判断する。

**問** 社会福祉協議会も会計年度任用制度をとらなければならぬと考えるが。

**町長** 待遇改善につながるような処置は取っていききたい。

**問** 社会福祉協議会の業務は多岐に亘っているが、医療費の削減に向けた取り組みを進めるには業務改革を検討する委員会設置の時期が来ているのではないかと。

**町長** 関係各課との協議を行い段階を踏んで検討委員会を立ち上げるが、設置の時期は来ていると思う。

**問** 「こども六法」を活用していじめ不登校対策を

**問** いじめ不登校を少しでもなくすために「こども六法」という本を学校や図書館において活用すると効果が上がると思うが。

**町長** 「なんともめでたいご臨終」も各課に配置して読むようにしたので、「こども六法」も同様な処置をしたい。

**問** 昨年11月26日に起きた先生による体罰で裁判所は暴行罪として罰金の判決を出した。事件後保護者が被害届を出した6月6日迄までの間学校及び教育委員会の危機管理体制は不十分だったのではないかと。

**教育長** 非常に申し訳なかつたと思つてゐる。今後は子供一人一人により沿つた指導と保護者の方たちの思いを大切にしながら教育活動を展開するように強く指導していく。

**問** 会計年度任用職員の時給等は現状から下回らないようにしなければならぬが給与表は作成しているのか。

**企画課長** 本年度は16億3千万円であるが、2千万円ほど増加する。

**問** 来年の4月から、現在の臨時非常勤職員が会計年度任用職員となりボーナスが支給される事となった。人件費はどれだけ増額となるのか。

**総務課長** 任用職員の雇用延長は面接及び試験となつてゐるが、どの方法をとるか。

**総務課長** 面接による人物評価等で判断する。

**問** 2年目から昇給がなされるが何号給あげるのか。

**総務課長** 勤務時間に応じ3号給の昇給になる。

**町長** 関係各課との協議を行い段階を踏んで検討委員会を立ち上げる



▲こども六法



なんともめでたいご臨終▶

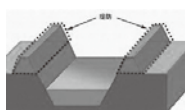
# 一般質問 9人が登壇



**難波 文美** 議員  
Namba Ayami

## 強い町づくりは 強い道づくりから

**\*水のう型  
簡易防潮堤  
(タイガードム)  
とは**



設置・撤去・収納がスムーズに2人～3人でできる。重量は空の状態でも約30kg。土のうと比べ扱いやすい。チューブに水を入れるだけ。エンジンポンプを使用すれば1本約5分で注水できる。浸水対策として使用した後は排水するだけなので、廃棄物ゼロ。泥や砂が残る心配がなく、非常に衛生的。乾燥・掃除の後はコンパクトに収納でき、繰り返し使用可能。

**問** 昨年から今年にかけて続いている豪雨災害により、内水路である百太郎溝と幸野溝が溢水し多くの住民に財産喪失をもたらした。総合計画にある町内の交通体系と河川環境の現状を踏

まえた主要施策の取り組みと対策は。

**町長** 根本的な対策の1つとして、鍋塚放水門、

一の木谷川放水門の改修と下流のポンプや水のう型防潮堤を考えている。

**課建設** 道路維持工事や修繕、橋梁の長寿命化と護岸改修整備を計画的に実施している。

**問** 令和元年度の防災計画書に修正点はあるのか。

**課総務** 避難に対する災害区分が、レベル別により明確化されている。



溢水のため町道の路肩が崩落した瞬間

**問** 今回の内水被害で、溝沿いの町道が崩

落して畑や民地を浸水させたことにより、単なる生活道路ではなく川の水を受け止める堤防道路であることが明白となった。溝の劣化診断や昨年から土地改良区との連携は取れていたのか。

**課建設** 県が主体となって会議や対策を進める事になっていたので受け手側としては待つている状態であった。

**問** 改良区側としては、昨年の被害以後、町が主導して溝の範囲限度まで道路を拡張し頑丈な

## 新教育長体制の 教育行政について

コンクリートやガードレールなどの設置をすることを望まれている。防災計画にも、堤防を兼ねた町道の脆弱性や危険性をしっかりと見極めて災害に強い道路、河川用排水路の長寿命化を盛り込

んで防災減災に反映させるべきでは。

**町長** 大規模工事には時間がかかるが、今後は土地改良区との連携も深めながら町民の不安や被害を少なくできるような改革に取り組む。

**問** 町内の小学校は各地区の特色を生かした取り組みが為されてきたのか。また、小学校と中学校の連携を図る組織や内容は。

**課教育** 各学校とも学年に

応じて地域の協力を得ながら同じような活動をしている。幼・保・小等教育連携部会があり、校区毎の研修会に中学校の職員が出向いて協議する場面がある。

**問** 毎年指定された小学校があるのか、また

年に3回の会議や研修会があり、図書館利用や事業計画、方針などに意見を頂いている。

たは5つの小学校に出向くのか。

**課教育** 望ましいのは各学期に1回であるが、時間的に難しいため現在は各校区毎、年に1回の情報交換となっている。

**問** 地域の宝である子供達にはより良い成長を願うばかりである。町の社会教育委員の活動については。

**課教育** 年に3回の会議や研修会があり、図書館利用や事業計画、方針などに意見を頂いている。

毎年指定された小学校があるのか、また



岩本 恭典 議員  
Iwamoto Yasunori

## あさぎり駅前複合施設整備

### 基本構想計画について

**問** 平成30年度予算で、あさぎり駅前複合施設整備基本構想計画策定料として587万9千円を計上しているが、進捗状況は。

**商観課長** 審査会で1社と523万8千円で契約した。JAと意見交換会を3回程実施しているが、新町長の意向を組み入れる必要があり、その後は進展してない。

**町長** 農協長・商工会長・事務局レベルで進めていきたいと思っている。

**問** この基本計画は、どこから立ち上がったのか。

**商観課長** Aコープの老朽化、熊本地震による商工会館2階の使用不可、ポツポツ館を含め、「道の駅化構想」で駅前再開発の話が始まっている。

**問** 青写真が出来上がったから計画を出すのが順番じゃないか。

**商観課長** 基本構想により事業推進を見極め、実施となった場合基本設計・実施計画という段階を踏んで

いくという方法もある。

### 国道219号線 拡幅の今後の計画は

**問** 平成18年町は、あさぎり中心市街地町づくり協議会で犬童病院から桑原医院の219号線の拡幅工事を3期に分けて計画している（平成34年終了予定）と説明したが、現在どう把握しているか。

**建設課長** 駅交差点から南稜高校への用地交渉を進めており、219号線については確認できてない。



国道219号線の拡幅工事ができていない所

**問** 調査から6〜7年経過し、当事者の方もいろいろ考えがある。通路としても危険で工事を早める要望はできないか。

**町長** 現在交渉している人達に話を聞いて、まとめて県に要望していきたい。

### 免許自主返納者への支援は

**問** 町内の事故の4割以上が65歳以上の高齢者である。事故防止の為に自主返納を促す対策があるか。

**高福社課長** 高齢者等の移動の利便性を図る10月からこのデマンド交通を位置づけている。

**問** 他の町村・民間でいろいろな支援体制と特典がある。期間を決めデマンドバスの利用料金を半額にしたらどうか？

**町長** 返納した方への便利な政策をやっていきたい。利用料金割引については担当と検討したい。

■あさぎり町における高齢者（65歳以上）が当事者の事故情勢

	事故発生総件数	事故発生総件数(65歳以上)	死者	負傷者
平成28年	247件	153件 (61.9%)	0名	18名
平成29年	268件	132件 (49.2%)	2件	10名
平成30年	256件	116件 (45.3%)	0名	8名
令和元年(7月現在)	117件	58件 (49.5%)	0名	2名

### その他の質問

あさぎり町表彰規則にのっとり功績があった人を毎年表彰できないか。

# 避難所の 現状と課題は

**総務課長** 非常時備蓄倉庫は、現在生涯学習センター1カ所集中的に備蓄。分散備蓄は、来年度から計画的に進めたい。

**町長** 住民が安心して避難できる場所を職員と一緒にやっていきたい。

**問** 避難所の開設時間は、避難は明るいうちに情報を収集し早目の避難を呼びかける。

**問** 防災基本条例の町民の役割と自主防災組織の活動や自主防災組織の訓練は、住民の意識づけが必要。小さい頃から防災教育の必要性は。

**問** 指定避難所は現在24カ所で避難環境等は一律ではない。自主避難所の対応は現在支所が行っているが、環境はまだ整っていない。優先度で整備は計画的に行いたい。

**問** 避難所の数と整備環境、生活環境は。

**総務課長** 指定避難所は現在24カ所で避難環境等は一律ではない。自主避難所の対応は現在支所が行っているが、環境はまだ整っていない。優先度で整備は計画的に行いたい。

**問** 高齢者の一人暮らし世帯、要支援者の避難については、地域サロン等常に啓発、認知する事が防災の近道と思うが。自主防災組織・消防団も限界がある。自衛隊等OBを把握

**問** 地区生徒会組織の中心がわかることは大切だ。

**教育課長** 学生ができる防災活動や日頃からの住民との交流を学校と相談している。

**問** 災害時避難行動要支アの考えは。



自主防災訓練

設置し自助・共助を理念に防災につなげたい。

**問** 日頃から地域の連携、例えば祭りだとか、コミュニケーションの場が必要だ。災害時の共助を持つ為に住民の「意識・啓発」。

**総務課長** 自主防災組織の検証・報告は。良い事例の組織の把握は。

**町長** 自主防災組織の活性化が必要だ。それぞれの意識を高め啓発活動を行い。町内で活発な地区を参考にし取り組みたい。

## その他の質問

通学路の安全安心対策は。



**生活課長** 災害時避難行動要支アの考えは。

**消防団の幹部、民生・児童委員に事前に配布し、啓発・情報を提供している。**

**高齢福祉課長** 災害に対する講座の要望があれば、講師の派遣に努めていきたい。

**総務課長** 有償ボランティアの活用も必要と感じるが、自主防災組織を全区

**問** 温暖化によりいつどこで災害が起きても不思議ではない。日頃から自治体、及び住民が防災減災の為に対策や訓練を重ね、防災に努め人命及び財産等を守る事は重要だ。避難所の現状と課題は。

橋本 誠 議員

Hashimoto Makoto



**自助** = 自分自身や家族の命と財産を守るために、家族で防災に取り組むこと。

**共助** = まず自分自身や家族の安全を確保した後に、近所や地域の方々と助け合うこと。

**公助** = 行政による公的な救助・支援のこと。



豊永 喜一 議員  
Toyonaga Kiichi



## 子育て支援について

### 学童保育の現状は

**問** 学童保育の現状は。

**生活課長** 学校法人、幼稚園等での運営で、町内7クラブがあり、登録児童数が228名である。

**問** 利用者が228名と、児童数の何%になるのか。

**生活課長** 3歳以上、小学生6年生までの単純集計で約16%である。

**町長** いろんな面で充実した支援ができるように検討したい。

### 学校給食の無償化は

**問** 小・中学校の給食が無償化する動きが広がっている。少子化や子どもの貧困対策と位置づけられているが、町長の考えは。

**町長** 子どもたちも、将来社会にでたら、食べるために仕事をしていく。食べるためにはお金がかかる。そのためにはしっかりと頑張らなければならないということも、子どもたちに教えていくべき。無償化ではなく、いくら補助率を上げるとか、子育て支援を考へ体制の見直しを検討しながら、子どもたちの健全な成育、発育のために精一杯の支援をしていく。

**問** 現在、あさぎり町では、少子化や子どもの貧困対策として様々な事業が実施されているが、現状と課題を問う。

**町長** 少子化、子どもの貧困対策等は、慎重かつ丁寧にして真剣に取り組まねばならないととても大きな課題だと認識している。正確な現状を把握し、専門家を交えながら、現在町が取り組んでいる対策を検討し、必要なところは加えていきたい。

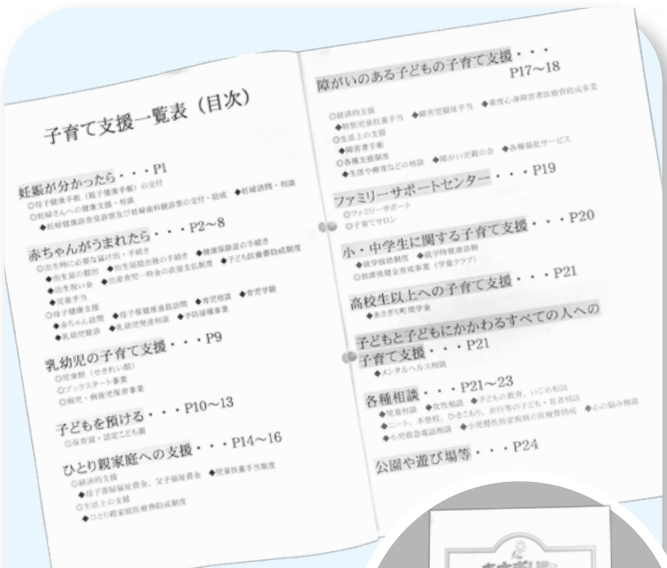
### 子ども医療費助成事業の検証は

**問** 子ども医療費助成事業の検証は。

**生活課長** 就学前と各小学校の調査を実施している。その結果で現状、成果の集計分析を行っている。効果については、保護者の経済的な負担の軽減というのが最大の目的と認識している。

**生活課長** 現状の課題として、人的いわゆるマンパワーが不足している。

**問** クラブの基準はすべて満たしているとの事だが、1クラブにつき2名以上の支援員が必要だが、基準を満たしているけれども、人員が不足するということはないのか。



あさぎり町子育て支援情報誌





小見田  
Komita  
和行  
議員  
Kazuyuki

# 国土強靱化と「たんぼダム」で

## 洪水被害の軽減を



県道錦湯前線  
宅地流入防止のため消防団による土嚢設置

**問** 豪雨により昨年も今年も同じ力所に越水、浸水の被害が発生した。消防団においても、夜間に危険な環境のなか活動を展開してもらっている。住民を災いから守る責務を負う行政の一刻も早い対策が望まれる。6月議会の防災関連の質問に関しては、「国土強靱化地域計画を策定した」と答弁がなされている。被害常襲地においても「地域計画」策定後の対応なのか。

**町長** それらについてはとりあえず急ぎ対応を考えた。また、3つの土地改良区から、防水防災の要望がなされている。これは、大規模な工事を伴うので、国土強靱化に盛り込んで、国の支援を受けながら早期の対策を講じたいと思っている。

**問** 施設改修（ハード）事業と合わせ、豪雨時の樋門・放水門の調節による水量調整（ソフト面）についても、今一度検証が必要ではないか。

**町長** 気象台からホットラインで気象情報が入るので、土地改良区と行政の連携を密にして、樋門操作についても的確な判断ができるよう協力していきたい。

**問** 森林、水田の持つ保水、透水の機能を活用し洪水対策に活躍している事例も全国的に増えつつあり、効果も報告されている。あさぎり町も広大な森

林や、2400ヘクタールもの水田を有している。10cmの水を溜めると240万トンの「たんぼダム」の役割を果たす事となる。経費は、落水口の閉じ板1枚で済む。国土強靱化における排水路等の治水対策工事も、大規模、高額の事業費になる可能性もあることから、「今すぐ」の対応には困難があると思える。既対策でできる「たんぼダム」構

水田の持つ雨水貯留機能を最大限発揮させた取組のこと。農地や農作物だけでなく、市街地の浸水被害を軽減する効果があります。

**たんぼダムとは**

田んぼの排水口に排水管より小さな穴のついた調整板などを取り付けるだけで、簡単に取り付けることができます。

雨水を一時的にためて、時間をかけて少しずつ潤すことにより、排水能力の増が軽減されます。

新潟県パンフレットより

農業・農村の持つ多面的機能の一つです。この機能は、農業を営むことで発揮されるとも重要なはたらきです。

想を球磨郡においては、あさぎり町から発信し、洪水被害の軽減策を提案されていると思うが。

**町長** 県の土木、農林部との会合も予定している。県の意見も聞きながら提案してみたいと思う。



**その他の質問**

集落内の道路面の凹凸対策について。



加賀山 瑞津子 議員  
Kagayama Mitsuko

## 子ども達の笑顔が

## あふれる学校へ

**問** 管内の小学校教師の暴力事件が連日新聞で報道されたが、児童や保護者へのケアを含めて事件発生の昨年11月以降の町や教育委員会の対応は適切であったか。

**町長** 事件発生から被害届を出された6月までの間の対応が十分であったのか検証してみたい。危機管理を持ち自らを戒めながら頑張っていきたい。

**問** 手を挙げた先生だけでなく、問題は学校と教育委員会が保護者や児童に対して誠意ある対応をとったのか。正しい情報共有がなされて密な意見交換の機会があれば訴訟まで起きなかったのでは。教育現場で問題が発生した時の組織のコンプライアンスのあり方や危機管理が今回の課題。

**教育** 保護者に対して半年間何もしなかった事については心からお詫び申

### 危機管理とリスク管理

#### 危機管理 (クライシスマネジメント)

危機的な事態が発生した場合、可能な限り迅速かつ適切な対応をとることで、平常状態へ復旧させることを目的としている。

#### リスク管理 (リスクマネジメント)

プロジェクトで起こりうるリスクを想定し、出来る限り排除、低減することにより、損失をできるだけ回避し、プロジェクトを遂行することを目的とする。

#### コンプライアンス

法令遵守、義務を果たす、法を守ると訳されるが本来の意味は「社会的ルールにのっとって活動を行う」意味も含まれている。

**問** 今回の件では、インターネット等で色々な誹謗中傷もおきている。ネット・ラインへの対策は。

**教育** ネット問題については今後十分な対応が必要。

**町長** 子育てしやすい、平穏な学校生活を送れる教育づくりを心がけていく。

### 安心安全のために 防犯灯の充実を

**問** 安心安全を考えるなら防犯灯だけでなく、防犯カメラや見守り・声かけボランティアの充実など様々な取り組みがあるが、今回は町を明るく照らすという点から伺う。現在の防犯灯の設置基数は。

**総務課長** 設置基数は2,208基(上校区760基・免田校区498基・岡原校



地区の負担のない防犯灯を

区313基・須恵校区302基・深田校区335基)

**問** 防犯灯設置の手続きの流れは。

**総務課長** 区長と協議を行い申請していただく。設置方法は①町が設置②行政区が設置の2つの方法がある。

**問** 区長、班長の皆さんに色々と活動の支援をいただいていることに感謝申し上げる。地区の電気料等の負担軽減案として、太陽光(ソーラー)発電を活用する考えはないのか。

**総務課長** 今はソーラーへの転換は考えていない。

**町長** 防犯灯に関しては、暗くて歩けないという認識はなかったが、分譲住宅地、新しい住宅が5戸10戸と出来ると対応も必要になると思う。そういう場所には、早めに対応出来るように区長と連携をとって取り組んでいきたい。





久保 尚人 議員  
Kubo Naoto

## 将来世代の視点を政策決定に取り入れていくことについて

**問** 将来世代が望む政策をイメージして、まちづくりをする「フューチャーデザイン」という考え方を取り入れた自治体があるが。

**町長** 私は将来を考え自問自答し、議論は自分の頭の中で十分なされる。町民の意見を聞くことも大事だが、財政の問題も含め厳しい判断をするときは町長が責任を持って判断するべき。

**町長** 私は将来を考え自問自答し、議論は自分の頭の中で十分なされる。町民の意見を聞くことも大事だが、財政の問題も含め厳しい判断をするときは町長が責任を持って判断するべき。

**問** 流域下水道事業がフューチャーデザイン

**問** 流域下水道事業がフューチャーデザイン

の議論の仕方を取り入れ、仮想の将来世代になって考えたなら、身の丈に合った事業規模を選択できたのでは、という思いがある。

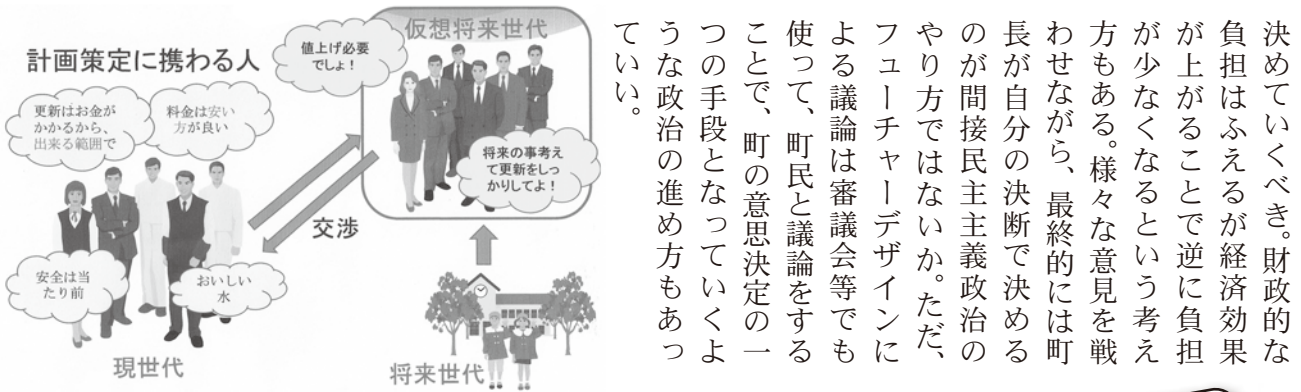
**町長** 当時は、環境を守るための政策が始まった時代であった。将来、無駄な施設になる部分があるかもしれないが、今後知恵を出していくのも政治の仕事ではないか。

**問** 資本費平準化債を使って50年後の住民（人口問題研究所の推定で10000人）までが負担するとなれば1人当たりの負担が未来のほうが随分重たくなってしまう。今を生きる者たちが意見を言えない将来世代の代弁をした議論も必要はないか。

公共施設等総合管理計画では、公共施設の面積を縮小させ、施設の集約や機能の廃止などの町民に痛みを伴う計画を進める中で、町長は駅前東の土地の買収や防災センター新設など公共施設の面積を広げる計画をもっているが、これこそフューチャーデザインを用いた議論が必要ではないか。

「公共施設の建設に對して、決断と責任はだれがとるか。」というフューチャーデザインではだれも責任を持たない。選挙で選ばれた者が決断と責任のもとに政策を

**町長** 「公共施設の建設に對して、決断と責任はだれがとるか。」というフューチャーデザインではだれも責任を持たない。選挙で選ばれた者が決断と責任のもとに政策を



岩手県矢巾町の水道事業におけるフューチャー・デザインの実践

### \*「フューチャー・デザイン」とは

日本を含む多くの国の政治や法律の制度は、現代の利益を優先し、将来の世代への考慮は希薄である。そのような政策の推進だけでは、環境の悪化や資源の枯渇は避けられない。このような問題に対し、将来のこのことを考える擬似的な将来世代を作り、その集団との交渉により未来をデザインするというアイデアを提示するもの。

イロコイ・インディアンは、彼らの憲法である「偉大な結束法」の中で、「すべての人々、つまり、現代ばかりではなく将来世代を含む世代を念頭に置き、彼らの幸福を熟慮せよ」と記しています。彼らは実際、重要な意思決定をする際には、7世代後の人になりきって考えるのです。私は、彼らの真似をしてみようと思い、その一連のプロジェクトを「フューチャー・デザイン」と名づけて、大阪大学や高知工科大学などと共同でさまざまな取り組みを行っています。政治に関しても、少なくとも今の選挙制度では、「私はこの国の、この町の100年後を真剣に考えています」と訴えたところで、当選するわけがありません。その政治家が、投票した方々や市場原理に逆らって将来を考えるのは難しい。現在の間接民主制もまた、近視眼的な仕組みなのです。  
提唱者の西條辰義 高知工科大学マネジメント学部教授 談



皆越 てる子 議員  
Minagoshi Teruko

## 男女共同

## 参画推進は



ている。懇話会の会長又は副会長が参加して学んだことを町の懇話会に繋いでいる。

### 問

懇話会の委員は現在11名となっているが、防災士を男女問わず1名登用ができないか。

### 総務課長

十分防災に関して知識を有している方が、入ることは必要なことと考える。

### 問

第三次計画に向けて、町民への意識調査の実態等による予算措置・懇話会の委員の再任も視野に入れては。

### 総務課長

いろんな分野で知識能力を持った人に懇話会に入ってもらい、新しい町の推進計画を策定し、必要な予算額を要求していく。

### 問

男女共同参画推進条例の制定については、県下45町村のうち20市町村が策定済み。

### 総務課長

人吉球磨郡では2市町村で策定している。推進条例では男女共同参画に向けた目標を示し、それに対する理念・町内事業所・町民へ求められる役割・責務を掲げることになる。

懇話会の中でも必要という意見もある。懇話会の役割の一つの中に、男女共同参画推進事業に関する意見を町長に具申し、意見の中で現在の状況・事業の行い方等を踏まえ真剣に丁寧と考えていく。

### 問

平成11年6月に男女共同参画基本法が交付施行、若干遅れ平成17年12月に、あさぎり町男女共同参画推進懇話会設置要綱を設置。平成18年4月より施行され現在に至っている。当初福祉課が担っていた庶務を現在、総務課が担っている経緯は。

### 総務課長

当初女性の人権というものから、男女共同参画を推進するために、少子高齢化による女性の就業、ワークライフバランス

### 問

男女共同参画球磨地区ネットワーク協議会が設置されているが、リーダーの参加状況は。

### 総務課長

同じ情報を共有し研修を深めていくというネットワークを組織され



## 全体研修会報告

広報調査特別委員会 副委員長 難波 文美

3年2ヶ月で

### 「全村避難」から「全村帰村」へ

10月2日、新潟県中越地震から15年を経た長岡市山古志地区を視察研修した。

平成16年10月23日、17時56分頃に発生した最大震度7（M6・8震源の深さ13km）の地震により、山あいの平和な14の集落は一瞬にして329箇所及び大規模な地滑りや土砂崩れ、河道閉塞を始めとするあらゆるライフラインの崩壊、民家の水没、倒壊という壊滅的な大被害を被った。隣接する長岡市は未曾有の大災害から立ち上がるべく復旧・復興の槌音響く中、平成17年4月には山古志村を含む5町村、平成18年1月には4町村さらに平成22年3月に1町と合併することでより広域となり新たな地域資源を得ている。今回の研修では、被災地の行政や住民がいかにして現状までの復旧・復興を成し遂げてきたのかを確認した。当時、村の職員は65名であったが被災直後に参集できたのはわずか3名。高齢化率53%の村で絶望的な状況の中、14集落の村民はそれぞれのやり方で2晩を過ごしたという。

被災翌日には中学校に地震災害対策本部が設置され、2日後には自衛隊のヘリコプターで全村民を長岡市内高校の体育館などへ避難させた。

同日に長岡地域振興局に対策本部を移設。災害ボランティアセンター山古志班の活動を開始し、2時間という短時間ではあったが12集落の住民を一時帰宅させ、3箇所を臨時交番を設置。また、避難所で生活する村民を集落ごとに再編し、心身共に最も辛く深く傷ついていた時期の村民を励ますために当時の天皇・皇后両陛下の訪問を実現させた。

震災時に村長であった長島忠美氏（故人）はアノラックと長靴姿で連日マスメディアで全国に向けて被害の甚大さを伝え、国に直接支援を求めするなど住民に寄り添った素早い対応が大きな注目を集めた。「山古志へ帰ろう」を合い言葉に2ヶ月を待たずして、あらゆる家族構成や村民同士の関係性などに配慮した対応型仮設住宅への入居を完了した。

冬場の積雪は2メートルを超える豪雪地帯。仮設住宅で迎える初めての年越しには、『希望の鐘』と名付けられたドラム缶が除夜の鐘となった。震災直後の『全村避難』という決断は「やまこし再生」に向けた始まりであり全村民が行動を共にすることで絆は生き残り続けた。その証として、平成19年に閉鎖されるまでの3年間を村民は仮設住宅で暮らし、そ

れまでに7割の村民が帰ってきた。現在は世界50カ国に輸出されている錦鯉の養鯉と伝統の牛の角突き行事が再開されている。被災当時から現在までを見つめ続けてきた職員の方が念を押された2つの言葉は復旧と復興の違い。

**\*復旧とは、生活道路や**

**河川を改修する事**

**\*復興とは、以前より良い**

**状態となる事**

人材や原材料の不足により、復旧だけでなく長い時間と巨額の費用を必要とされている現実を目の当たりにすれば、毎年多くの災害に見舞われる日本各地の復興の道のりは未だ遠くに感じられるが、山古志の驚異的な復旧対応には大いに学ぶ事があった。



新潟県長岡市庁舎にて

## 常任委員会報告

### 総務文教常任委員会

○7月29日（月）

あさぎり中学校第3学年英語検  
定料補助について

県が始めた中学校の英語検定  
チャレンジ事業にのって検定に  
係る保護者負担を軽減するため  
の補助金である。委員から、小  
学生の受験や英語以外への補助  
についても提案があり、今後検  
討していく必要性が示された。

○8月22日（木）

会計年度任用制度について

令和2年4月からの法改正に  
より、臨時・非常勤職員の制度  
移行について、当初9月提案予  
定が12月の提案となる。理由と  
して本町以外は、委託して制度  
設計を行っているが、本町は単  
独で進めており、より精度を高  
めるためである。

公民分館建設事業について

2公民分館の既算工事費の提  
示によると5千5百万円／棟を  
超えることから、各委員から慎  
重論が出る。要因として、熊本  
地震以降の労務単価の上昇と分  
館の特殊事情等がある。



今井公民分館予定地（南側より）

## 総務文教常任委員会

## 研修会報告

総務文教常任委員会 委員長 久保田 久男

研修日 10月3日

研修場所 新潟県魚沼市 NPO法人「エンジョイスportsクラブ魚沼」

昨年4月から、小学校の部活動が廃部となり、ジュニアクラブ等を受け皿とした社会教育に移行した現状と課題を踏まえ、先進地である新潟県魚沼市のNPO法人「エンジョイスportsクラブ魚沼」を訪問する。

同クラブは、平成11年に「子供スポーツクラブ」として設立され、15年に総合型スポーツクラブ、16年にはNPO法人格を取得、24年には市体協、地元建設会社と共同企業団体を組み、25年から団体として体育館の管理・運営等を行っている。その間トレーニングマシンの増設、館内のLED化等施設整備を実施されている。しかもその整備費用は、管理者負担で行っており、整備された器具備品等の一部は市に寄付されている。地域に根差したクラブとして子ども達から高齢者まで、健康づくりから介護予防事業まで幅広く受託し現在に至っている。一方、本町の課題でもある運動をしたくても家庭の事情等でクラブに参加できない児童への対策、指導者の確保については、全国的にも試行錯誤の段階であり、要は、行政・クラブ・住民が対等な立場で協力しあいスポーツを通じた地域づくりをやっていることに本町として大いに参考にすべきであることを強く感じた研修であった。

○6月21日（金）

球磨村高齢者生活福祉センター  
せせらぎにおいて「世話やき隊」  
（有償ボランティア）の研修

平成27～28年度熊本県社会福祉振興基金助成基金を活用し「生活支援サポーター養成講座」を実施。平成30年3月に「世話やき隊」設立総会開催。協力会員30名、利用会員10名、30分1000円の利用で年会費5000円を利用会員が負担している。

○7月22日（月）

ふれあい福祉センター改修に係る  
意見交換会の結果概要について

ふれあい福祉センター施設改修計画意見交換会が6月17日（月）に開催された。21名中18名が出席。主な意見として、この施設は避難所としても利用するのか。地元農産物や加工品を販売できるスペースの設置をお願いしたい等の質問があった。

幼児教育無償化について

子ども・子育て支援法、子ども・子育て支援法施行令により実施され、費用負担は国、県、町となり、令和元年度に限り地方負担分については全額国が補てんする。対象者等は3～5歳：幼稚園・保育所・認定こども園などの利用料を無償化。開始年齢は小学校就学前の3年間（満3歳になった後の4月1日から）保護者実施で徴収している費用（通園送迎費・食材料費・行事費等）は無償化の対象外となる。0～2歳：上記施設を利用する住民税非課税世帯の利用料を無償化する。



厚生常任委員会研修（球磨村）

## 厚生常任委員会

# 研修会報告

厚生常任委員会 副委員長 加賀山 瑞津子

研修日 10月3日

研修場所 「認知症にやさしいまち大賞」を受賞された新潟県湯沢町

NHK 厚生文化事業団30年度「認知症にやさしいまち大賞」を受賞された新潟県湯沢町を視察。

湯沢町は人口8,134人、高齢化率36.5%の町で、平安時代から続く温泉場があり、川端康成の「雪国」の舞台にもなっている。又、苗場スキー場などの冬のスポーツを中心に来客数が430万人もあり、町民の8割が観光に携わっているとの事であった。大賞となった「アクション農園倶楽部」では、農作業をすることで認知症を防ぐというよりは、地域に根差したつながりを持つ事を目的として、役場・社協・病院が連携を取りながら運営されていた。理想だけでは何も生まれない。参加者自ら行動し継続、みんなで話して企画する。雨天でも農園に集まるなど、継続し続けていく事が成功のポイントだと感じた。当町でも「認知症徘徊模擬訓練」を行っているが、湯沢町では徘徊⇒SOS、模擬⇒探索と表現の工夫があった。認知症にやさしいの言葉通りに身近な言葉への配慮等学ぶべきものがあった。



○6月28日(金)  
町道立野線災害復旧工事(変更)について

大型ブロックを設置する地盤の強度が不足している事が判明した。

○7月24日(火)  
あさぎり町森林環境譲与税基金条例について

間伐や人材育成、担い手確保、木材の利用促進や、普及啓発等の森林整備、及びその促進に要する経費の財源に充てる為。

○8月22日(木)  
農林振興課、上下水道課所管現地視察

深田西・松尾山林視察。間伐等森林整備促進対策事業14・4ヘクタール、高性能作業機を使った施行状況。昨年の台風24号の風倒木の被害状況、今後の処理について説明を受けた。40年から50年育て

た木が、製材としての価値がなくなり、台風被害の大きさを感じた。次に水道設置5ヶ所視察。その中で上地区川北皆越の西平谷水源は4WD車でなければ行けない悪路。役場から40分位の所にあり、担当者が週3回水源地点検を行っているとの聞き、町民に水を届ける為の御苦労を感じた。



西平谷水源

## 建設経済常任委員会

# 研修会報告

建設経済常任委員会 委員 市岡 貴純

研修日 10月3日

研修場所 千葉県市原市 有限会社 葉っぱや

現在、あさぎり町内に施設ハウスを持つ野菜契約農家の紹介により、千葉県市原市に本社を置く、有限会社「葉っぱや」野本社長のもとを訪れた。台風15号の爪痕が未だ残り、所有するガラス温室等の被害対応の最中にもかかわらず御対応頂いた。農場を数カ所に持たれ、建設から40年経つガラス温室や、平成28年には産地パワーアップ事業で取り組まれた18,000㎡の最新技術による大型施設ハウスでの水耕栽培が行われていた。主に自社開発ブーケレタス栽培に取り組み、近郊農業を活かして自社便配送による鮮度維持、また各農場には農場長を置き、栽培管理、収穫出荷をハウスごとに責任を持って行い、個々の能力を発揮し成長させている取り組みに感銘を受けた。(視察先の農場長は、若手女性がされていた。)

あさぎり町においても2件の農家がこの会社との契約栽培をされておりブーケレタス栽培に取り組んでおられ、西日本の拠点となる位置付けをされている。今後も地域農業の発展に寄与されることを期待すると共にこの様な取り組みや、これからの農業情勢の情報共有の必要性を感じた研修であった。



若手女性農場長から説明をうける



自社所有専用コンテナ車

# 熊本県町村議会議員研修会報告

テーマ 「これからの議会のあり方、議員への期待」

議会活性化特別委員会 副委員長 久保 尚人

議員には4年に一度の選挙があり、いわば選挙は品質管理のようなもので、議員は誰でもいいというものではない。ちゃんと住民に吟味される必要がある。ただ近年は、立候補者が少なくなり、吟味が効かなくなりつつあるため、片山氏は議会の劣化を憂慮されている。

議会の役割の一つに「議決」があるが、議員はある意味裁判官と同じで「決議(判決)」に重責を負う。そのためにも、十二分な情報を収集して、多方面から議案を見つめ審議する姿勢が重要となる。

近年、住民に開かれた議会を目指すために各町村でも議会報告会が開かれることが多くなった。片山氏は住民の意見を町政に反映することが重要であり、すでに決まったことを報告されてもさして意味がないという。昨年より、あさぎり町では、報告会に変えて新たな形として町民との意見交換会を行っている。これは、町民の意見を町政に反映させることを目的にした会である。初めての試みであったこともあり、不手際もあったが手ごたえを感じるものだった。今年はおもつと内容を良くして取り組みたいと



片山 善博 元鳥取県知事の講演

思う。

財政の持続性についても言及している。国や地方の借金が1100兆円という巨額なものとなり、毎年増え続けている。また、そんな国の姿勢を安穩と信じて、交付税が必ず入るものと信じている地方自治体に「喝」を入れた。

「国を信用してはダメですよ。自分(政府)も借金で首が回らないのに何で地方の面倒まで見てくれますか。」と。要するに「社会保障や年金の支払いで、借金まみれでアップアップの政府がいつまでも地方の面倒を見てくれるようなそんなお人よしではないですよ。」と警笛を鳴らしてくれているわけだ。

今回の講演で漠然としていた不安が自分の中で形を現した気がする。「自分の町は自分で守れ。自分の家族も自分で守れ。」

## 一部事務組合報告

○8月30日(金)

第3回定例会が開催され、承認1件、議案8件を原案通り可決した。一般質問では、人吉市選出の塩見議員が、「特別養護老人ホーム福寿荘民営化」について執行部の考えを質した。



## 人吉球磨広域行政組合議会

平成30年度決算特別委員会が設置され、決算の認定3件の審議については、委員会に付託された。委員長に錦町の右田議員が選出された。次に「陳情第1号 人吉球磨クリーンプラザでの農業用廃プラスチック類の処理に関する陳情書」について審議され、組合の共同処理する事務に関する調査特別委員会に付託された。

○6月22日(土)

第2回臨時会が開催され、統一地方選挙等による改選に伴い、新たに多良木町より5名、水上村より2名の議員が当病院企業団の議員となった。改選で欠いていた議長に投票の結果、湯前町選出の味岡恭議員が当選された。なお、議会運営委員会の委員長には多良木町選出の林田俊策議員、副委員長はあさぎり町選出の久保尚人議員となった。監査委員には水上村選出の米良哲議員を選任した。



## 公立多良木病院企業団議会

次に議案の規約の一部変更については熊本県市町村総合事務組合規約第3条第10号に規定する交通災害事務から、令和元年8月31日をもって合志市が脱退する変更が原案可決された。

\\聞かせて\\

# 町民の声

町内の方々に寄稿していただきました

## この季節に思うこと

彼岸花の咲くこの季節になると育った山里を思い出します。彼岸花の茎を折って遊んだり遠い山まで栗やシイの実を取りに行った事等です。そこまでは年上が下の子の面倒を見てくれました。中秋の名月には、大銀杏に囲まれた薬師堂で月の出を皆で待ちました。お供えは茹でたサツマイモ、里芋、枝豆、柿や栗。大人から昔話を聞き、お供えを頂くのです。それが楽しみでした。地域で見守られて育ったと実感しています。今私は、サロンの手伝いをしています。参加される方々は、高齢であっても遅さがあります。持参される漬物や煮物は、とてもおいしくやさしい味です。地域の力が弱くなったと言われています。少しはお役に立てるかなと思うこの頃です。



免田地区（築地）

荒木 誠子さん

## 動物にも幸福な町へ

先日、11年共に過ごした愛犬が逝ってしまいました。最後は悲しみの中ペット火葬を行い、別れを告げました。長年共にいるとペットというより家族同然愛らしく思えるものです。一方、野良猫等が減らないのも現状です。9月には衰弱して鳥に狙われていた野良の仔猫を保護しました。幸いにも元気を取り戻し、今は新たな家族となっています。人間の心無い行動で野良猫となり、その後子どもを産むという負の連鎖が続く限り、町から居なくなることはないと思います。飼い主は最後まで責任を持って「捨てない」。町が野良猫の避妊手術等の高額な費用を協力し、野良猫を「増やさない」。これからは動物にも幸福な町になって欲しいと思います。

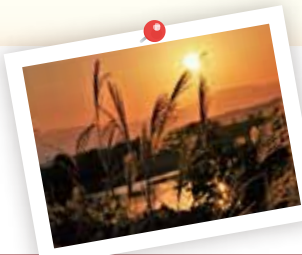


須恵地区（覚井）

梅山 禎一郎さん



このコーナーは町民の皆さまから議会に対する事や町への要望を寄稿していただき、作成しています。議員が依頼に伺った際は、ご協力をお願い致します。



■表紙の写真について

表紙の写真は、自然観察クラブ 犬童賢二さんの作品「黄昏」です。

## 編集後記

今号も議会だよりを読んで頂き有り難うございます。

霜月を迎えるあさぎり町は、例年と変わりなく穏やかな風景に見えますが、所々に夏の豪雨災害による爪痕も残っています。

自然災害に対しての関心や意識の高まりは、非常時の生命や財産を守るために、普段からどう行動すれば良いのかを考えることにつながって行きます。

「言葉」より「行動」が、町のリーダーにも私たち住民ひとりひとりにも求められている令和元年の秋です。

（難波 文美）

**編集・発行責任者**

議長 徳永 正道

**広報調査特別委員会**

委員長 久保 尚人

副委員長 難波 文美

委員 溝口 峰男

委員 豊永 喜一

委員 小出 高明

委員 岩本 恭典

★お願い★「議会広報」の腕章をした議員が、写真撮影等でお伺いして取材します。議会広報に載ることがあります。ご理解とご協力をお願いします。

